

## iU、「妄想学」で日本のイノベーションを加速するプロジェクトをスタート -株式会社要とともに、自由で楽しい発想である「妄想」を起点とするビジネス手法開発-

2023年4月1日より、iU（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）は、アイデア発想と共創コミュニケーションをトレーニングする「モウトレ」を開発した株式会社要（東京都千代田区、代表取締役田中恵次 <https://kanamekey.com/> 以下「要」）、妄想の普及とモウトレナーの育成を行う一般社団法人妄想からアイデアを共創する協会（東京都千代田区、代表理事田中恵次 以下「妄想協会」）とともに、「妄想学」の研究とビジネス科目としての授業化を通じた、オープンイノベーションの手法開発に取り組む共同研究を行います。

### ■ 妄想学の共同研究プロジェクト

妄想学とは、妄想を起点にイノベーションを社内外で起こす手法であり、主に次の5つの分野にまたがり、構築されます。

- ・アイデア発想法
- ・コミュニケーション法
- ・コラボレーション法
- ・妄想を取り入れるマネジメント法
- ・妄想起点のコミュニティ形成手法

妄想を活用したビジネスづくりのために、これらの手法を一元的に学べるようにすることで、妄想起点のビジネス作りや、それへの転換を行うことを目指します。

共同研究プロジェクトは3カ年計画で以下3点を行います。

- ①妄想学のカリキュラム化
- ②大学での授業実施と企業向け講座での実施を通じて、ケーススタディの蓄積
- ③妄想起点のビジネス創発とオープンイノベーション創出のためのコミュニティ形成

東京都墨田区のiUキャンパスを拠点に、妄想協会と、iU 松村太郎研究室（#iUdcb））、オープンイノベーションをテーマとする情報発信メディア「iU Journal」が中心となり、研究を推進して参ります。

### ■ 妄想による社会変革

妄想学は、一般にあまり良しとされないネガティブなイメージすら持つ「妄想」を分析し、言語化し、共有するところから始まります。我々は日常生活の中で、社会的な常識や、物理法則、現在の学問や技術における常識など、実に多くのことを疑わずに生活しています。これらに疑いを持ち、異なる考え方を持つことが「妄想」と位置づけられています。

しかし、人間の社会の進歩は、常識、当たり前とされていたことを否定し、人々の行動が変容し、成功したパターンについて、これをイノベーションともてはやしてきました。

そうした妄想がなければ、死の恐れの対象である「火」を使って文明を開化させなかったかも知れないし、物理法則に反する「空

を飛ばすこと」が生まれていなかったかも知れないし、携帯電話にはダイヤルボタンが存在し続けていたかも知れないし、人工知能が人に知識を教えるようにはなっていないのではないのでしょうか。

## ■ iU における要の妄想学を通じた教育支援

妄想学を構築する現場である iU では、大学 1 年次から起業を経験するビジネスと密着したカリキュラムが組まれています。妄想学を通じて、要は、大学 1 年、大学 2 年次向けのビジネスプランを作り上げる授業「イノベーションプロジェクト」において、妄想学を導入し、より自由で活発なイノベーションを伴うビジネスプランの構築に役立てていきます。

2023 年前期は、5 月 19 日（金）13 時から iU にて行われる「イノベーションプロジェクト I（B）」において、要と妄想協会による妄想学の特別講義を行い、常識にとらわれない発想をいかにビジネスに結びつけるか？を学んだ上で、学生のビジネスプランにフィードバックする計画です。

## ■ 妄想によるブレークスルー、イノベーションを日本の活力に

個人がいきなり、「常識にとらわれない思考」に至ることは難しく、無意識のうちに常識に戻ってきてしまいます。また中小企業から大企業まであらゆる組織において、生産性向上と、空いたリソースによる行動変容を伴う新しい製品やサービスを生み出す「イノベーション」が求められますが、円滑なイノベーション創出が行われている状況にありません。

妄想学は、自由で楽しい発想である妄想をポジティブに受け止め、これをビジネスに変換する手法を学ぶことができるようにすることで、あらゆるサイズのビジネスに対して、イノベーションのきっかけを提供できるようになります。

妄想を日本の経済と社会の発展に役立てることを、本プロジェクトの目的としたいと考えています。そして、妄想と共に生きる人を、一人でも多く増やしていくことを目指します。

### <株式会社要について>

ビジョン「Friend of Dreamers」を掲げ、社員の自己実現を通し世の中にハピネスを生み続ける株式会社要。本社は東京都千代田区、2010 年設立の IT 開発会社です。児童虐待予防のリスク予測システム「MAMORUKO」や路面自動計測システム「セーフロード V」など社会課題解決型のプロダクトを提供しています。世の中にこんなのがあったらいいなを投稿できるプラットフォーム「MouMa」を 3 年前に公開し、妄想業界に参入しています。

<https://www.kanamekey.com/> 会社サイト

<https://hp.mouma.app/> MouMa 公式サイト

### <妄想協会について>

一般社団法人妄想からアイデアを共創する協会は「妄想を人々の知的生産のトリガー」にするというミッションを掲げ、2021 年に設立しました。アイデア発想力と共創コミュニケーション力をトレーニングする、妄想アイデアトレーニング「モウトレ」というワークショップを通じた啓発事業と、トレーナーの育成事業、妄想学の普及事業を行っています。

<https://www.mou-sou.org/>

## <大学概要>

### ■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

### ■学長



中村伊知哉（なかむらいちや）

<職歴>

- 1984年、ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省
- 1998年、MITメディアラボ客員教授
- 2002年、スタンフォード日本センター研究所長
- 2006年、慶應義塾大学大学院教授
- 2020年4月より、iU学長に就任

### ■設置概要 ※2022年5月1日現在

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎  
右：サテライトオフィス

- ・学生数：639名 ・専任教員数：28名

### ■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

### ■基本構想

#### ビジネス×ICT×グローバルコミュニケーション + 全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・ビジネス創造教育：実務家教員によるビジネススキル教育を実施、ビジネス教養、ビジネスプラン策定力などを身につける
- ・ICT教育：電子学園が積み上げた基盤により、プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開
- ・使える英語・グローバル教育：国際舞台で仕事をするために必要な英語力を磨く教育と留学生の受け入れにより国際性も強化
- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：希望者全員に対し、在学中に起業にチャレンジできるサポート体制
- ・オンラインを活用した授業サポート：『いつでもどこからでも学ぶことができる』をキーワードに、自ら積極的に学ぶための環境の充実

### ■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

#### <松村太郎研究室について>

iU専任教員の松村太郎のゼミ「iU Design Center for Business and Academic」(#iUdcb) は、2名のスタートアップ経営者を含む14名のゼミ生が在籍し、まだ世の中になくビジネス、社会、教育などのデザインを研究しています。「妄想学」は、企業のカルチャーブック、ファクトブックの制作によってブランディングや営業活動を円滑に行う手法を発展させ、そうした情報資産を学べる形に編集することで、企業内外の迅速かつ深いノウハウ共有や認知理解、コミュニティ形成を行う「百社百学」のプロジェクトとして実施しています。

**<iU Journalについて>**

東京・墨田区にあるiU大学（情報経営イノベーション専門職大学）をメディア化しようという「iUメディアプロジェクト」から生まれたオンラインメディアです。大学の情報発信を串刺しにし、「iUのことならここを見れば、すべてわかる」ハブとなることがコンセプトです。さらにその役割をこえて、400を超える連携企業と、700人を数える客員教員のビジネスネットワークを構築しているiUの特長を生かし、テクノロジー・グローバル・ビジネス・アカデミックの交差点として、オープンイノベーションの「タネ」をアウトプットしていくことを目指しています。

■ iU Journal <https://iujournal.tokyo/> ■ Twitter [https://twitter.com/iu\\_journal](https://twitter.com/iu_journal)

**【本リリースに関するお問い合わせ先】**

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : [info@i-u.ac.jp](mailto:info@i-u.ac.jp)